

2月に入り、強い冬型の気圧配置が長続きしたため、平年に比べて気温が低く、降雪が多くなり、積雪量も多くなっています。

新潟地方気象台の3か月予報（令和7年2月25日発表）によると、寒気の影響を受けにくいいため、気温は平年並みか高く、降水量、日照時間はほぼ平年並みの予報です。

令和7年産米の生産に向けた重点対策 ～品質・収量の高位安定化につながる 一歩先を見据えた基本技術の励行～

令和6年産米は、高温・低日照による稲の長草化が早期倒伏を招き、品質・収量に大きく影響しました。令和7年産米は基本技術の励行により、結果につながる丈夫な稲づくりに取り組みましょう。

1. 稲体を健全に保つための土づくり
2. 高温条件に合わせた播種・育苗計画
3. 適期中干しで生育量を適正量に調節
4. 適期穂肥で後期栄養確保
5. 除草と薬剤散布で斑点米の防止強化
6. 早めの刈り取り準備で品質確保

1. 丈夫な稲づくりの基本「土づくり」の継続 ～今年は鉄資材の積極的な施用でワキ対策～

異常気象に負けない稲づくりのため、根の質と量を充実させ、稲体を丈夫にすることが重要です。毎年のケイ酸と有機物（堆肥）の施用に加え、鉄資材も積極的に併用しましょう。

成分	期待される効果
有機物(堆肥など)	<ul style="list-style-type: none"> ・連年施用で土壌保肥力の向上 ・栽培後期の窒素発現量の増加による稲体活力の維持
ケイ酸	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫・気象ストレスに強い稲づくり ・整粒歩合の向上
鉄	<ul style="list-style-type: none"> ・硫化水素（ワキ）の発生を軽減して根の活力維持 ・ごま葉枯れ病にかかりにくくする

昨年は生育量が大きく稲わら残渣が多いことから、例年よりもワキが発生しやすく、根を痛めることが予想されます。そのため、鉄資材を活用して「ワキ」発生を軽減対策をしましょう！

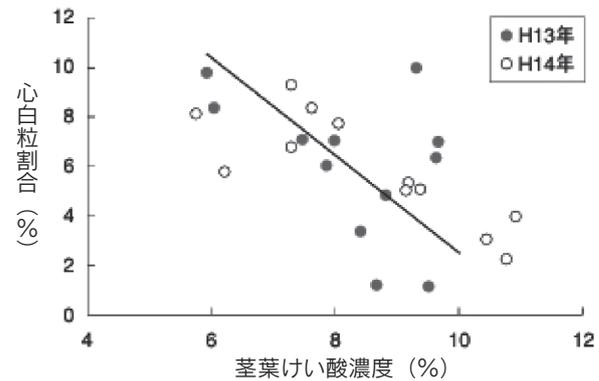


図1：成熟期の茎葉ケイ酸濃度と心白粒割合
 (富山県農業技術センター：山田)

3. 塩水選～催芽

●塩水選

塩水選は充実した種籾を選別するために行います。
 塩水に種籾を入れた後、棒などでかき混ぜ、底に沈んだ種籾を使用してください。※塩水選後は、種籾をよく水洗いしましょう。

【塩水の作り方：水10ℓ当たりの食塩】

区 分	水量	食塩量
うるち (比重1.13)	10ℓ	1.9kg
もち (比重1.08)		1.1kg

●種子消毒

近年、育苗期に褐条病等の種子伝染病害が散見されます。種子消毒により確実に防除を行いましょう。

(1) テクリードCフロアブル

ばか苗病、いもち病、もみ枯細菌病、褐条病等に適用のある薬剤です。消毒後は水洗いせず浸種を行いましょう。

薬剤	使用時期	処理方法	適用病害名
テクリードC フロアブル	浸種前	200倍液・24時間浸漬	もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病、ばか苗病、いもち病等
		20倍液・10分間浸漬	
		原液を籾1kg当たり5ml塗抹(原液の場合)	

(2) タフブロック

ばか苗病、いもち病、もみ枯細菌病、褐条病等に適用のある微生物農薬です。

効果を安定させるために投入後はよくゆすり、種籾全体に有効成分が付着するようにします。また菌が落ちないように、静かにゆっくり取り出し、洗浄や乾燥は行わないようにしましょう。

薬剤	使用時期	処理方法	適用病害名
タフブロック	催芽時	200倍液・24時間浸漬	褐条病、ばか苗病、いもち病、苗立枯細菌病、もみ枯細菌病等
	催芽前	200倍液・24～48時間浸漬	

※タフブロックを使用する場合は、ダコニール剤との併用は行わないでください。

【薬剤使用量の目安（テクリードCフロアブル・タフブロック）】

種籾量	水量	薬剤使用量（200倍液）	薬剤使用量（20倍液）
5kg	10ℓ	50 (ml・g)	500 (ml・g)
10kg	20ℓ	100 (ml・g)	1,000 (ml・g)
25kg	50ℓ	250 (ml・g)	2,500 (ml・g)

(3) 温湯消毒

温湯消毒単独では、特にばか苗病や褐条病に対する効果が著しく劣るため、防除効果の期待できる温湯消毒とタフブロックの体系処理を検討しましょう。

近年、ばか苗病の発生が多くなっています。発病後の防除方法がないことから発生予防に努めましょう。

使用時期	処理方法	注 意 点
浸種前	処理温度 60℃ 処理時間 10分	効果の安定と発芽率の低下を防ぐため、処理温度は60℃、処理時間は10分を厳守し、温湯消毒後は速やかに清水で冷却してください。消毒後～浸種までに時間が空くと種子に雑菌が付着する恐れがあるため、消毒後は早めに浸種に移りましょう。 ※温湯消毒後やむを得ず保存する場合は、十分に乾燥させて冷暗所で保存してください。

●浸種

令和7年用種子は休眠が「やや深い」と推定されることから、発芽揃えをよくするため、**水温10～15℃、積算水温120℃を目安**に浸種を行きましょう。**特に浸種初期の低水温（10℃未満）には注意しましょう。**

種粉1kgに対して水約3.5ℓの割合の水量で、酸素不足にならないよう十分な水量を確保し、薬剤消毒処理後の浸種の場合は、効果を高めるために前半の4日間は水を取り替えず、その後水の更新は2～3日に1回行いましょう。水の更新の際には、併せてネット内の種粉を混ぜ、ネットの天地返しを行ってください。また、温湯消毒のみの場合は、雑菌を繁殖させないために水温の上昇に注意し、特に4月中旬以降はこまめな水の更新を行いましょう。

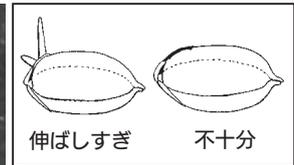
●催芽

水温30℃で24～48時間を目安に行いましょう。催芽ムラは播種ムラや出芽ムラなどにつながるため、催芽終了は必ず発芽状態を確認してください。袋全体の8割以上が鳩胸状態で完了です。また、水温が30℃を超えると細菌性病害の発生が懸念されるため、注意しましょう。

【最適な催芽粉】



【要注意!!】



お願い!!

種子消毒等の残液、廃液処理及び、容器・器具の使用は周辺環境に配慮し、適切に行ってください。

4. 床土・覆土の準備、病害対策

●床土・覆土をご自身で混和される場合

分類	資材名	容量	1袋で出来る箱数	1箱あたり
床土	川西床土または 育苗床土（ホーネンス）	20kg	8箱	2.5ℓ（約2.5kg）
覆土			16箱	1.25ℓ（約1.2kg）
床土 混和	ピートモス	50ℓ	62箱	0.8ℓ（4.5合）
	稚苗用苗代配合	10kg	330箱～400箱	25～30g

●ホーネンス培土を使用される場合

分類	資材名	容量	1袋で出来る箱数	1箱あたり
床土	ホーネンス培土1号又は ホーネンス培土1号Si	20kg	7箱	2.8kg（N：1.3g）
覆土	川西床土または 育苗床土（ホーネンス）	20kg	16箱	1.2kg

※培土には肥料、ピートモスが混和されています。

●細菌性病害対策

分類	資材名	容量	1袋で出来る箱数	1箱あたり
覆土前	カスミン粒剤	3kg	150箱～200箱	15～20g
播種後 覆土前	カスミン液剤	500ml	40箱～80箱	50ml 4～8倍液

●苗立枯病（カビ）対策

分類	資材名	容量	1袋で出来る箱数	1箱あたり
育苗箱全体	ナエファイン粉剤	1kg	125箱～165箱	6～8g
播種時灌注	ナエファインフロアブル	250ml	500箱	0.5ℓ～1ℓ 1000～2000倍液

※ナエファインは3種類の苗立枯病菌（ピシウム、フザリウム、リゾープス）に適用があります。

※苗立枯病は、無加温出芽や低温・低日照により、出芽揃いまでに日数が長くなる場合に発生しやすくなるため注意が必要です。

**病害虫対策は発生前の予防防除が重要です。
特に育苗期間中は適用農薬が少ないため、発生予防を徹底しましょう!**

～ JAからのお知らせ～

第3期(令和7～9年度) JAみなみ魚沼農業者応援事業の申請について

申請受付期間 令和7年3月3日(月)～4月30日(水)

～ 応援事業実施項目～

A. 土づくり資材の継続的な活用に対する支援

- 【内 容】 土づくり資材の継続的な活用による高品質な農産物生産に向けた支援
【対 象】 ケイ酸保証成分30%以上または鉄含有成分30%以上の土づくり資材、地元畜産堆肥
(散布作業代は除く)
【助 成 率】 購入価格の20%以内
【上限金額】 ￥300,000

B. 高品質米生産及び作業の省力化への支援

- 【内 容】 1等米比率の向上に向けた高品質米生産及び水稲作業における省力化を図るための機械導入に対する支援
【対 象】 当JAで購入した次の機械への奨励

播種機、催芽機、育苗機、苗箱並べ機、色彩選別機、粗選機、石抜機、電気柵、
自走式草刈り機、トラクター用草刈機、乗用溝切機、籾殻散布機、農業用ドローン、
後付GPS機器、田植同時農薬散布機、セット・ラジコン動噴、可変施肥装置、
計量器付フレコンスケール、自動給水システム、米袋リフター、ブラウ・カルチ

- 【助 成 率】 購入価格の20%以内
【上限金額】 ￥200,000

C. 園芸品目生産拡大支援

- 【内 容】 新規取組または従来より取り組んでいる園芸品目の生産拡大に向けた機械導入等に対する支援
【対 象】 当JAで購入した次の機械への奨励

セット・ラジコン動噴、管理機、定植機、掘取機、運搬機、養液土耕システム、
選別機、ハウス用ビニール、電気柵、施設園芸用地造成費用、背負い動力噴霧機、
施設園芸用井戸ポンプ

- 【助 成 率】 購入価格の20%以内
【上限金額】 ￥200,000

D. 八色西瓜新規取組支援

- 【内 容】 新たに八色西瓜に取り組む方に向けた生産資材購入費用に対する支援
【対 象】 取組1年目～3年目にかかる減価償却資材および単年度資材
【助 成 率】 購入価格の40%以内
【上限金額】 ￥200,000

E. 集落営農組織の課題解決支援

- 【内 容】 集落営農組織の経営安定に向けた取り組みに対するソフト支援
【対 象】 南魚沼市、湯沢町管内の集落営農組織
【上限金額】 ￥100,000

次ページに続きます→

F. 米の複数年契約による農業者所得安定化支援

- 【内 容】 【コシヒカリBL】のJA出荷に対する支援
- 【対 象】 過去3年（R4～R6）の平均総出荷数量より増加する「コシヒカリBL」（水田活用米穀含む）の出荷数量に対して助成（上限数量未滿の場合は申告した契約数量を上限とする。ただし規格外米は除く）※複数年契約（3年間：R7～R9）の締結を条件とする。
- 【助 成 率】 2,000円/俵
- 【上限金額】 ￥200,000

G. 西瓜の複数年契約による農業者所得安定化支援

- 【内 容】 【八色西瓜】および【八色っ子】のJA出荷に対する支援
- 【対 象】 【八色西瓜】、【八色っ子】のR6出荷実績より増加するJA出荷数量に対して助成（上限数量未滿の場合は申告した契約数量を上限とする。ただし規格外品は除く。）※複数年契約（3年間：R7～R9）の締結を条件とする。
- 【助 成 率】 大玉60円/玉 小玉20円/玉
- 【上限金額】 ￥100,000

応援事業の詳しい内容やお申込みにつきましては、各営農指導課までお問い合わせください。

営業時間の一部変更のお知らせ

平素はJA事業への格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、社会的な働き方改革の一環として令和7年3月1日(土)より、営業時間を下記の通り一部変更させていただくこととなりました。

組合員、利用者の皆さまにはご不便をおかけすることとなり、大変恐縮ではございますが、業務の効率化を図り、サービス向上に一層努力してまいりますので、皆様のご理解と変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<変更後の営業時間>

- 一般業務【車両センター・農機センター・虹のホール含む】
3月1日～2月末日 8:30～17:00
※支店窓口の営業時間 9:00～15:00（変更なし）
- 資材店舗
◆アグリセンター大和・六日町・しおざわ



3月1日～3月31日	8:30～17:00
4月1日～7月31日	8:00～17:30
8月1日～9月30日	8:00～17:00
10月1日～2月末日	8:30～17:00
4月1日～10月31日までの土曜日・日曜日	8:30～17:00

◆アグリセンター湯沢

3月1日～11月30日	8:00～15:00
4月1日～7月31日までの土曜日	8:30～12:00

- あぐりぱーく八色・四季味わい館・セルフスタンド
※営業時間の変更はございません

ご不明な点がございましたら、JAみなみ魚沼営農指導課までお問い合わせください。

◎アグリセンター大和 TEL777-3786 ◎アグリセンター六日町 TEL773-6121

◎しおざわ基幹センター TEL782-1171